



インフォ・マート

Info Mart

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



vol. 126

全世界で絶賛を浴びるデュオがミューズ初登場!

ヨーヨー・マ 「チェロ」

キヤサリン・ストット 「ピアノ」

デイズニー・オン・クラシック
まほうの夜の音楽会 2023

クラシック×ジャズ 2つの顔でミューズ初登場!

小曾根真 「ピアノ」

▼
P5

▼
P3

▼
P1

音楽界の至宝！
全世界で尊敬を集めるデュオがミュージーズに初登場！

ヨーヨー・マ

「チェロ」

キャサリン・ストット

「ピアノ」

©Mark Mann

DUO RECITAL
IN TOKOROZAWA MUSE

音楽家としてあらゆる榮譽ある賞を受賞し、国連の平和大使を務めるなど、音楽の枠組みを超えて尊敬を集めるヨーヨー・マが、盟友キャサリン・ストットと共にミュージーズに初登場を果たす。

あらゆる人を魅了する音楽性と人間性
世界のあらゆる音楽ファン、演奏家を魅了し続けるヨーヨー・マは今年68歳。このチェリストの偉大さを語るには、いったい何から語り始めたらいのだろうか。わずか7歳でケネディ大統領の前で演奏したのを皮切りに、オバマ大統領やバイデン大統領など歴代の9人のアメリカ大統領の前で演奏する機会を与えられた稀有なるチェリスト。100枚をゆうに超えるCDをリリースし、通算19回！ものグラミー賞受賞歴（ノミネートは何と29回！）を誇る。ハーバード大学では人類学を学び、1991年には名誉博士号を授与されており、さらに国連からはその人道的な活動が評価され「ピース・メッセンジャー（平和大使）」に任命されている。2020年にはTIME誌の「最も影響力のある100人」に選ばれるなど、ヨーヨー・マに対する評価と期待は、とても音楽のジャンルの中にはおさまりきれない。現代最高の音楽家の一人、音楽史上最も偉大なチェリストの一人、そしていまを生きるひとりの人間として最も偉大で尊敬に値するのがヨーヨー・マということに尽きるのではないだろうか。

あくなき探求心と
信頼が生み出す名演奏

チェリストとしてのヨーヨー・マの偉大な足跡をたどるには、どんなに紙面があっても足りない。ウイーン・フィルやベルリン・フィル、ニューヨーク・フィルなど超一流のオーケストラと共演を重ね、カラヤン、アバド、小澤征爾など名指揮者の揺るぎない信頼を勝ち得てきた。1980年に本格的なCDデビューを果たすと、数々の名アルバムで異例の売上を打ち立てる。とりわけ3度の「パッハ…無伴奏チェロ組曲」は、カザルスに並ぶ名演奏として絶賛を浴びた。さらに1997年にリリースされた「ピアソラ・アルバム」は空前のブームを巻き起こし、ヨーヨー・マの名と共にピアソラの魅力が世界中に知られるきっかけとなった。キャサリン・ストットとは、グラミー賞を獲得した『ソウル・オブ・ザ・タンゴ』オ

ブリガード・ブラジル』のほか、フランス作品集「ベル・エポック」、二人の軌跡をたどる『ソングス・フロム・アーク・オブ・ライフ』など数多くの名盤を残してきた。さらに、ヨーヨー・マが自身のルーツをたどる「シルクロード・プロジェクト」は、中国からモンゴルや中央アジア、中東のアラブ世界を経て、ヨーロッパへと至る道程とその音楽的ルーツを探るもので、世界の一流音楽家を巻き込む壮大なプロジェクトに発展した。

偶然の出会いが生んだ黄金のデュオ

イギリスを代表する名ピアニストの一人キャサリン・ストットも豊かなキャリアを築いてきた。メニューイン音楽院では名教師ブーランジェとベルルミュテールの薫陶をうけ、フランス音楽に限りない愛情を注ぐようになる。サイモン・ラトルやオッコ・カムといった名指揮者、トゥ

ルルス・モルク、ジャニーヌ・ヤンセンなどの名手と共演を重ね、マイケル・ナイマン、マックス・ウエル・デイヴィスなどの新作を初演するなど現代の音楽にも造詣が深い。さらに室内楽の分野でもオーストラリア室内楽フェスティバルの芸術監督やシェフィールド室内楽フェスティバルのキュレーターを務めるなど目覚ましい活動を展開している。ヨーヨー・マとは1985年以来、数えきれないほどのプロジェクトで共演を重ね、現代を代表するデュオとして絶賛を浴び、日本でも多くの聴衆を魅了してきた。

今秋の日本公演では、フォーレ、ドヴォルザーク、フランクの作品が発表されているが、そのほかにも地域や時代をグローバルな視点でとらえる名手2人ならではのプログラム、そして人間味溢れる温かい演奏を聴かせてくれるだろう。

ヨーヨー・マ[チェロ] キャサリン・ストット[ピアノ]
デュオリサイタル

2023年 10月28日(土) 18:30開場 19:00開演 **好評発売中**
アークホール
曲目◆フォーレ:子守歌 op.16
ドヴォルザーク:わが母の教え給いし歌
フランク:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調 ほか
料金◆全席指定
S席¥22,000 A席¥20,000 B席¥18,000
C席¥16,000 D席・学生席完売

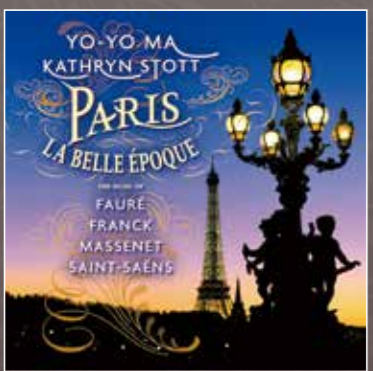
※末就学院の入場はご遠慮ください。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。



1985年以来、世界中で数えきれないほど共演を重ね感動を与える現代最高のデュオ



『オブリガード・ブラジル』アサド兄弟などブラジルの巨匠と共演した大ヒット作



『パリ〜ベル・エポック』フランスの名曲集。パリの黄金時代の薫りを伝える



『ソングス・フロム・アーク・オブ・ライフ』ヨーヨー・マとストットの軌跡をたどる



『ソングス・オブ・コンフォート・アンド・ホープ』コロナ禍に希望を与える名曲集



『美女と野獣』あらずじ。呪いによって醜い野獣の姿に変えられてしまった王子。魔法のバラが散るまでに人を愛し、愛されなければ永遠に野獣の姿になってしまいます。そんな野獣のもとに美しく聡明な娘ベルが現れますが、野獣の傲慢な態度にベルは心を閉ざしてしまいます。しかし、家具や食器に変えられてしまった家来たちの優しさ、次第に人間らしい優しさを取り戻していく野獣と接しているうちに、愛が芽生え始めるのです。残された時間はあわずか。魔法のバラが散るまでに、野獣は人間の姿に戻るのでしょうか。



Disney on CLASSIC

a Magical Night 2023
まほうの夜の音楽会

Presentation licensed by Disney Concerts, ©Disney

テーマ「With You ～愛を奏でる」

ディズニーの輝く名曲の数々を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏でお贈りする大人のための音楽会。「With You ～愛を奏でる」をテーマに、迫力のパフォーマンスや映像で、8年ぶりに『美女と野獣』をフィーチャーします。

ディズニーの名曲たちを
ミュージズのアークホールで!!

2002年に誕生した「ディズニー・オン・クラシック」。ディズニーのアニメーション、映画、テーマパークなどで生まれた楽曲を演奏する音楽会。その歴史は20年を超え、ほんの3公演から始まったコンサートは、今や全国で毎年約70公演近くを開催するコンサートにまで成長しました。ウォルト・ディズニーの理念である「愛、優しさ、勇気、希望、友情、夢、冒険」を掲げ、多くのファンを魅了しつづけています。全国をめぐるツアーでは様々なコンサートバリエーションがありますが、ミュージズで行われるのは「スペシャルコンサート」。『スベシャルコンサート』が行われるのは51公演のうちなんと3公演のみ！大編成のオーケストラでお贈りするコンサートで、楽器本来の音色や、クラシックホールならではの美しい響きをお楽しみいただけます。

不朽の名作『美女と野獣』
美しい愛の物語を
映像とともにお届け

ディズニー映画の最高峰作品の一つである『美女と野獣』。アニメ映画で初のアカデミー賞

ディズニー・オン・クラシックを
作り上げる二流アーティストたち

指揮者はミュージズ2回目の出演となるリチャード・カーシー。2022年の出演では演奏もさることながら、司会者やセキラン・チェスコのお茶目なやりとりでも会場を沸かせました。ヴォーカルを務めるのは、NYブロードウェイなどで活躍するヴォーカリストたち。圧倒的な歌唱力で会場を盛り上げます。演奏は2015年に創立したオーケストラ・ジャパン。創立以来「ディズニー・オン・クラシック」をはじめとしたコンサートに出演し、ジャンルや既存のオーケストラのあり方にとらわれることなく、ディズニーと音楽への情熱で、突き抜けた表現力を紡ぎだします。指揮者、ヴォーカリスト、オーケストラが奏でるディズニーミュージックにご期待ください！

指揮者リチャードより
所沢の皆さまへメッセージ

第2部の『美女と野獣』は、音楽が完璧な作品です。「朝の風景」で物語やキャラクターを紹介し、「ひとりぼっちの晩餐会」は心が躍り、タイトル曲でうっとり。どれもアラン・メンケンが手がけた天才的な名曲ばかりです。昨年、3年ぶりに来日した際に、日本の皆さんに「おかえり」と言っていただけなのに、とても嬉しかったです。今年は、もっと自由に、リラックスした気持ちで、「一緒に」楽しんでいただけるコンサートになると思います。会場でたくさん笑顔に見えることを楽しみにしています！



リチャード・カーシー [指揮]



※ステージ写真は過去の公演です



※ステージ写真は過去の公演です

ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2023

好評発売中

12月10日(日) 16:30 開場 17:30 開演
アークホール
料金◆S席:¥9,300 A席:¥7,900 B席:¥6,700
学生席(当日引換券):¥2,000
SS席:¥13,000
出演◆リチャード・カーシー [指揮]
THE ORCHESTRA JAPAN [管弦楽]
ニューヨークで活躍するヴォーカリスト

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※出演者・演目等が変更となる場合がございます。
尚、変更に伴う払戻しはいたしません。
※クラシック専用ホールのため、照明の演出はございません。
※詳細はHPをご確認ください。



クラシック×ジャズ2つの顔でミュージシャンに初登場！

小曾根 真

「ピアノ」

Makoto Ozone

世界的ジャズピアニストとして活躍する小曾根真の待望のソロライブ！
還暦を越えてなお、チャレンジすることを心から楽しむ小曾根のエキサイティングな演奏をお聴き逃しなく！



5歳でクラシックが大嫌いになった

ジャズ演奏家の父の影響で、幼少より独学で音楽を始めるが、5歳の頃ピアノを習ったことがきっかけでクラシックが大嫌いになった。その後は家にあった Hammondオルガンを弾いていたが、12歳で世界的ジャズピアニストオスカー・ピーターソンの演奏に感激し、ジャズ・ピアノを始める決心をする。1980年にボストンに渡り、83年にバークリー音大ジャズ

作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約をむすび、アルバム『OZONE』で世界デビュー。その後も数々のアルバムをリリースし、ゲイリー・バートンやチック・コリアなど世界のトッププレイヤーとの共演や、自身のビック・バンド「No Name Horses」を率いる。このツアーなどジャズの最前線で活躍していく。

運命を変えたモーツァルト

ジャズ一筋の人生に転機が訪れるのは2003年。尾高忠明指揮、札幌交響楽団の定期演奏会から声がかかり、てっきり、ラプソディー・イン・ブルー。だと思いつき込みオファーを受けたが、後に「モーツァルトで（!!）」と聞かされる。その時すでに出演のキャンセルは出来ず…大慌てで協奏曲全集のCDを買いに行き10日ほどで全曲を聴いて9番「ジュノーム」を選曲した。この演奏会の評判が広まり、クラシックのレパートリーでも色々なオーケストラから声がかかるようになっていく。それまでは譜面を読むことが苦手だったが、モーツァルトの作品と向き合ったことで200年以上前にこんなことをやっていったんだという作曲家視点での驚きと素晴らしさに気づき、クラシックとの距離が一気に縮まる。一度真剣に勉強しようと、4か月間「一切ジャズを弾かない！」と決めてアメリカの音楽学校にも通った。

うので、小曾根は常に「段どらない演奏」を心がけているという。（まさに今回の演奏会も曲目は当日決定！）そうすることで、瞬発的に起きる生きるエネルギーや感情を音楽という言語を通して、聴衆と同じ空間で共有していくのだ。

一番に楽しむのは自分！

「クラシックだろうがポップスだろうが、お客さんが幸せにならないと意味がない。」小曾根にとっては、ジャンルという垣根を越えて1人でも多くの人がHAPPYになる音楽ができれば、そこに意味があると考えている。そのためには、まず自分自身が一番に楽しみたいと客席にも伝わらない。常にスリリングな場所に身を置くことが好きだというが、出来ないことに向かっているワクワク感と、今その瞬間を最大限に楽しむ姿が、小曾根ワールド。という唯一無二の存在感を醸し出している。その「音楽の会話」が生まれ、どのような幸福に満たされるのだろうか。

音楽は言語と同じ

クラシックとジャズの違いについて小曾根は「日常会話」と「台本がある芝居」と例えている。クラシックは「台本をどう読み解くか」というところに楽しさがある。まずはきちんと楽曲を自分の中に落とし込んでから「どうしてこの音にしたの？僕ならこうだと思う」など、まるで作曲家と対話をするように作品と向き合っていく。クラシックの作品を弾き始めた頃は楽譜に忠実にという思いがあったが、十数年経ち今は作品に合わせて自分のカラーを出してもよいのかなという思いを持ち始めたという。

ジャズはというと、アドリブ（日常会話）がメイン。（決して「適当」に演奏すれば良いのではない…）ただ、同じ内容を繰り返すと音楽が流暢になり演者のワクワク感が失われてしま



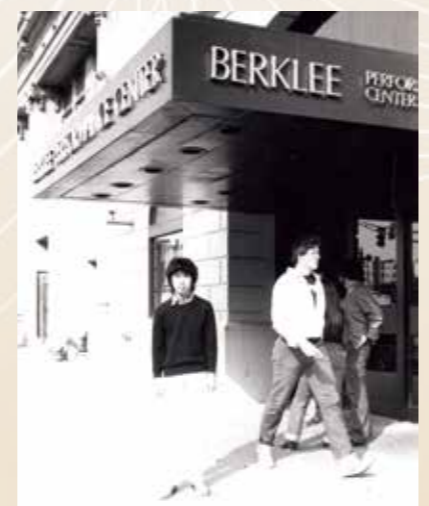
2014年にアメリカ最高峰のNYフィル（アラン・ギルバート指揮）と共演。アジアツアーのソリストに日本人ジャズピアニストとして初めて抜擢された。



人生の大きなターニングポイントの出会いにもなったという世界的ピアニスト チック・コリアとは数多く共演し、デュオ・アルバムをリリースするなど親交を深めた。



コロナ禍に53日間続けて自宅から配信した無料ライブが大きな話題となった。（俳優で妻の神野三鈴と）



名門バークリー音大へ留学し首席で卒業



Hammondオルガンに夢中になった少年時代（6歳の頃）

小曾根 真[ピアノ]
MAKOTO OZONE SOLO LIVE
 2023年11月25日（土） **好評発売中**
 13:15開場 14:00開演
 アークホール
 料金◆全席指定 ¥4,300
メンバーズ特割 ¥3,300
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

ステージレポート

Stage Report

4月8日
~5月28日

2023

4/8
(土)

2023 ズーラシアンプラス・アニメ・カーニバル

〈アークホール〉
出演／ズーラシアンフィル
ハーモニー管弦楽団
曲目／宇宙戦艦ヤマト
ルパン三世
鬼滅の刃
おジャ魔女カーニバル!!
ほか



第114回 所沢寄席 立川志の輔独演会

〈マーキーホール〉
出演／立川志の輔
当代随一の人気と実力を誇る落語家立川志の輔。この日の演目は「親の顔」「宿屋の富」。志の輔の巧みな話術で、会場は笑いの渦に包まれました。お終いは志の輔の音頭でミュージズ開館30周年を祝い、三本締めでお開きとなりました!



15
(土)

みうらじゅん FES 開幕!! スペシャルトークショー

〈アークホール〉
出演／みうらじゅん いたうせいこう



15
(土)

5/7
(日)

みうらじゅん FES マイブームの全貌展

〈ザ・スクエア〉
「マイブーム」「ゆるキャラ」などの命名者であり、新鮮な視点を持つみうらじゅんによる『マイブームの全貌展』。ザ・スクエアの隅から隅まで所狭しと並んだ、膨大かつ深遠な収集・創作活動に迫った展示の数々に鑑賞者は圧倒されました!
みうらじゅんと所沢の芸術総合高校の生徒と一緒に展示を行うなど充実した展示企画となりました。



4/20
(木)

ネマニャ・ラドウロヴィチ [ヴァイオリン] ドゥーブル・サンス [弦楽合奏+ピアノ・チェンバロ]

〈アークホール〉
出演／ネマニャ・ラドウロヴィチ [ヴァイオリン]
ドゥーブル・サンス [弦楽合奏+ピアノ・チェンバロ]
曲目／ヴィヴァルディ:ヴァイオリン 協奏曲《四季》
セドラー:日本の春
リムスキー=コルサコフ(セドラー編):《シェヘラザード》作品35



23
(日)

ジョヴァンニ・ソッリマ 無伴奏チェロ・コンサート 2023

〈マーキーホール〉
出演／ジョヴァンニ・ソッリマ [チェロ]
曲目／J.S. バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第4番
ソッリマ: ナチュラル・ソングブック
ほか



5/20
(土)

21
(日)

NBAバレエ団『海賊』

〈マーキーホール〉
芸術監督／久保統一
出演／
[1回目] 福田真帆 宮内浩之 渡辺葉菜 刑部星矢
[2回目] 勅使河原綾乃 高橋真之 須谷まきこ 三船元維
[3回目] 野久保奈央 新井悠汰 山田佳歩 本岡直也



28
(日)

セクスイハイム presents ヴァシリー・ペトレンコ指揮 ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ: 辻井伸行

〈アークホール〉
曲目／グリエール: スラヴの主題による序曲
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番
チャイコフスキー: 交響曲第6番《悲愴》



写真撮影(市民カメラマン)/佐藤清一郎(4/8ズーラシアン) 三平資郎(4/8所沢寄席、5/28) 中村仁(4/15、5/21) 滝島利男(4/20) 由井一雄(4/23)

スタッフのつぶやき

「カップソムリエ」

4月入社、ピカピカの1年生の私。先日、自宅の雨具を整理していたのですが、ビニール傘1本に対し、カップは4着もありました。4種のカップは雨量と気分によって使い分けています。さて、ミュージズでは夏以降もおすすめのイベントが盛りだくさんです。必ずチェックしてくださいね!(W)

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター

04-2998-7777

●窓口・電話予約10:00~18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約

所沢 ミューズ

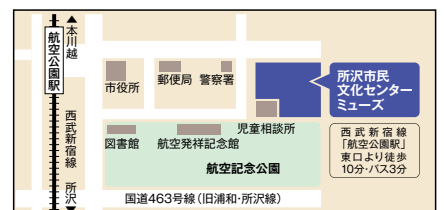
検索



クラシック・ポップラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージズホームページでご確認ください。

<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



*公演情報は2023年6月26日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2023年9月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。